

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	● 研究の名称 頸椎症性脊髄症に対する除圧術後の成績調査 —浜松医科大学および関連病院における多施設後ろ向き 研究— ● 研究の対象 2010年4月から2019年10月までの間に浜松医科大学医学部附属病院または、関連施設（遠州病院、浜松赤十字病院、十全記念病院、浜松医療センター、磐田市立総合病院、藤枝市立病院、菊川市立病院、榛原総合病院、静岡市立病院、総合青山病院、成田記念病院）の整形外科へ受診し、頸髄症または後縦靱帯骨化症に対して除圧術（椎弓切除術あるいは椎弓形成術）を受けた症例 ● 研究の目的 頸髄症に対する除圧術後の後弯変形や脊柱管の再狭窄の原因の調査、および術前の栄養状態と術後合併症との関係を調査すること。 ● 研究の期間 2019年11月（倫理審査委員会承認日）から2020年12月まで ● 他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関から浜松医科大学へのデータの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の個人情報分担管理者が保管・管理します。
利用し、又は提供 する試料・情報の 項目	● 研究に使用する試料・情報： 患者背景（性別、年齢、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴など） 手術に関する情報（除圧範囲、術式、出血量、手術時間な

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	ど) 術後合併症(再手術の有無、せん妄、肺炎、術後感染など) 血液検査データ(アルブミン、コレステロール、ヘモグロビン、リンパ球数など) X線写真(脊柱アライメントのパラメータ) CT(形成術後の骨性再狭窄、脊柱管前後径など) MRI(術後の再狭窄有無など) アンケート(NDI、JOAスコア)
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 遠州病院 整形外科診療部長 藤田倫匡 浜松赤十字病院 副院長 萩原弘晃 十全記念病院 整形外科部長 小山博史 浜松医療センター 整形外科医長 小林祥 磐田市立総合病院 整形外科部長 猿川潤一郎 藤枝市立総合病院 整形外科医長 鈴木希央 菊川市立総合病院 整形外科診療部長 村田英之 榛原総合病院 院長 森田信敏 静岡市立静岡病院 整形外科主任科長 佐野倫生 総合青山病院 副院長 佐藤義弘 成田記念病院 副院長 清水聡志
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 浜松医科大学長寿運動器疾患教育研究講座 特任助教 大江慎
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：整形外科・長寿運動器疾患教育研究講座 担当者：大江 慎 TEL：053—435—2299 FAX：053 - 435 - 2296 E-mail：mecersior@gmail.com